

# 広報広聴常任委員会会議録

- 1 日 時 平成30年3月12日（月）  
15時32分開会 15時46分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：北村光明 副委員長：大谷昭宣  
委 員：佐藤幸一、原 紀夫（臨時委員長）、口田邦男、中島里司  
議 長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：宇都宮学
- 5 説明員 なし
- 6 議 件
  - (1) 委員長の選出について
  - (2) 副委員長の選出について
  - (3) 所管事務調査事項について
  - (4) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

加来議長：本会議終了後、お疲れのところ広報広聴常任委員会にお集まりいただきありがとうございます。ただいまから、広報広聴常任委員会を開会する。初めての委員会であるので、委員長が決定されるまでの間、委員会条例第9条第2項の規定により、年長委員である原委員に臨時委員長をお願いする。それでは原委員よりしくお願いする。

(原臨時委員長、委員長席に着席する)

### 議件(1) 委員長の選出について

臨時委員長(原紀夫)：臨時委員長の職務を行うので、どうぞよろしくお願いする。  
これより委員長の選出を行う。お諮りする。委員長の選出方法は、どのような方法により行うか。

口田委員：私は委員長がどなたになっても結構だと思う。しかし、これを決める前段で議長のほうからこの人にやってほしいというような指示が出ているというのはいかがなものか。どういう理由で指示を行ったのか理由を伺いたい。

加来議長：特にこうしてほしいということはないが、段取りをつける中でこういう人がいいのではないかとということ佐藤委員にお願いをした経緯はある。誰と決めてこうしてほしいということではない。この委員会で決めていただければいいことである。

口田委員：当然この委員会で決めることだからそのとおり。前段で議長がしゃしゃり出て委員長選任に対してそういった態度を取るといふのはいかがなものかということを行っている。それは決してやってはならないことでは。そこまで委員会のことに関して介入すべきことでないような気がするが。委員長は委員の互選で決めること。議長が前段でこういう方法でどうか、この人はどうかということを行うことはいかがなものかということを行っている。

臨時委員長：休憩する。

【休憩 15:36】

【再開 15:36】

臨時委員長：再開する。今口田委員からご意見をいただいたが、委員長の選出方法について、どのように行ったらいいか皆さんのご意見を伺う。

佐藤委員：指名推選でよろしいかと思う。

臨時委員長：他に意見はあるか。

(なしの声あり)

臨時委員長：ないようなので、指名推選の方法により行うことでよろしいか。

(異議なしの声あり)

臨時委員長：異議なしと認める。よって、指名推選の方法により行う。

それでは、ご指名をお願いする。

佐藤委員：北村委員を指名する。

臨時委員長：ただいま、北村委員の指名があった。他にはないか。

(なしの声あり)

臨時委員長：ないようなので、北村委員のご指名に異議はないか。

(異議なしの声あり)

臨時委員長：異議なしと認める。よって、北村光明委員が委員長に選任された。

委員長に選出された北村委員、委員長席にお着きください。

これをもって、臨時委員長の職務は終了する。ご協力ありがとうございました。ここで休憩する。

(北村委員長、委員長席に着席する)

【休憩 15：37】

【再開 15：38】

## 議件(2) 副委員長の選出について

委員長(北村光明)：休憩前に引き続き会議を開く。

(委員長就任の挨拶)

これより副委員長の選出を行う。お諮りする。副委員長の選出は、どのような方法により行うか。

口田委員：委員長指名でよろしいかと思う。

委員長：委員長指名との声があった。他に選出方法についてご意見はあるか。

(なしの声あり)

委員長：委員長指名で行うことで異議はないか。

(異議なしの声あり)

委員長：よって、副委員長は委員長が指名する。

経験があるということで中島委員を副委員長に指名したいと考えているが。

中島委員：皆さんに諮る前に申し上げたい。私はその指名をご辞退したい。

委員長：それでは大谷委員はいかがか。

大谷委員：今委員長が経験のある方と最初に言っていたが私は何も経験がない。経験のある方を指名してはと思う。

委員長：原委員はいかがか。

原委員：議会活性化特別委員会委員長もやっているのだから辞退する。

委員長：口田委員はいかがか。

口田委員：いいのだが、監査委員の立場であるので難しい。

委員長：佐藤委員はどうか。

佐藤委員：受けることはできない。

委員長：原委員は受けてもらえるか。

原委員：今まで議会運営委員会でやっていたのが新たに個別の広報広聴委員会でやるということになった。中身を皆さんで協議をして進めるということを含めると、初めての方が全員であるので、相当な回数になるという気がする。前段で私がお断りしたのは、議会活性化特別委員会で大きな仕事を背負っているのだからそれ以上は難しいのでその辺の配慮をお願いしたいということ。

委員長：もう一度大谷委員をお願いしたい。

大谷委員：委員長が最初に言われていた経験者をお願いをしたいという言葉があった。私は議員になって丸1年ということで経験がない。新しい委員会ということであるが、経験がなく手助けをできない中で受けてもいいのかなと思う。最初だからこそ、経験がある方であればスムーズにいけるのではないかなと思う。

委員長：委員会で協議をするので、経験のある人の意見もいただけるから、やれるのではないかなと思うので、よろしくをお願いしたい。

大谷委員：(承諾の旨の意思表示)

委員長：副委員長に大谷昭宣委員を指名する。それでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：大谷昭宣委員、その場で就任の挨拶をお願いします。

副委員長(大谷昭宣委員)：(副委員長就任の挨拶)

## 議件(2) 所管事務調査事項について

委員長：次に、所管事務調査事項についてを議題とする。お諮りする。広報広聴常任委員会は、閉会中においても議会広報紙の編集及び発行等の調査を行う必要があるため、「議会広報紙の編集及び発行について」、「その他議会の広報及び広聴に関する事項について」を定例議会の都度、所管事務調査事項として申し出を行うこととしたいと思うが、よろしいか。

(異議なしの声あり)

委員長：異議がないようなので、所管事務調査については、「議会広報紙の編集及び発行について」、「その他議会の広報及び広聴に関する事項について」を議長へ申し出ることとする。

## 議件(3) その他

委員長：その他について何かあるか。

(なしの声あり)

委員長：以上をもって、広報広聴常任委員会を終了する。